ビジネス ＥＸＰＯ
第４０回　北海道 技術・ビジネス交流会
未来創発　躍動する北海道～人が動く、地域が動く、産業が動く～

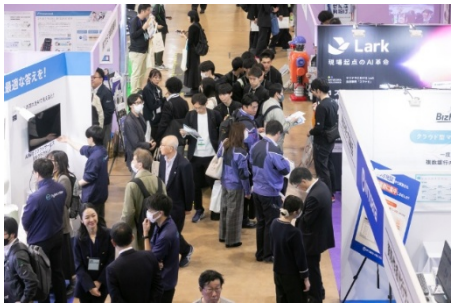


■開催日：２０２６年１１月５日（木）～６日（金）
■出展者数：３２０企業・団体・大学・研究機関
■出展規模：２８９小間

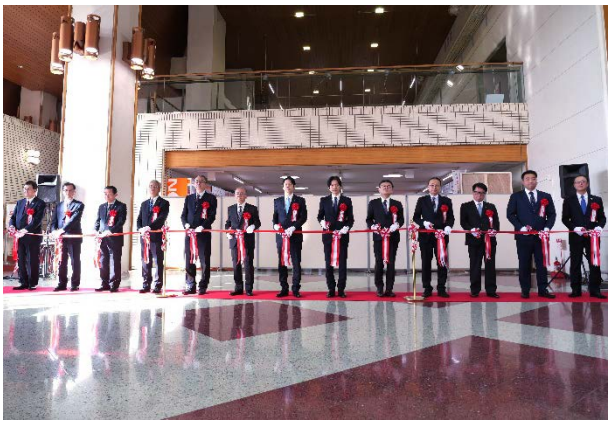
２日間の来場者数　計　２２，２３８名！！

北海道の経済活性化と産業振興、そして新たなビジネスチャンスの創出を目指す 北海道最大級の展示会“ビジネスＥＸＰＯ「第４０回北海道 技術・ビジネス交流会」”が、１１月５日（木）・６日（金）の２日間、札幌市内のアクセスサッポロにおいて開催されました。

今年の出展者数は３２０社・機関、出展規模は２８９小間となりました。テーマである『未来創発　躍動する北海道～人が動く、地域が動く、産業が動く～』に相応しい、北海道の課題解決に繋がるような魅力あふれる製品・サービス・研究成果が揃った展示会となりました。

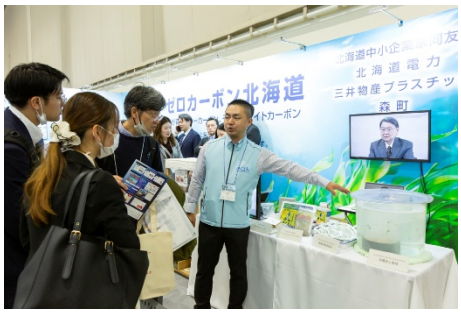


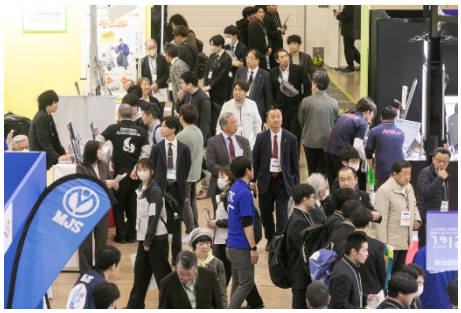
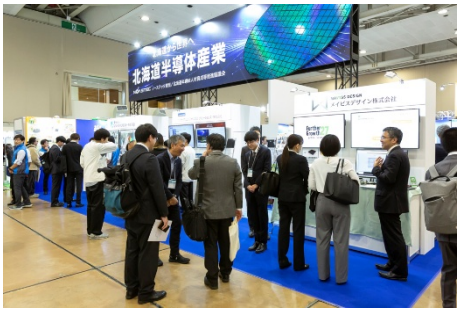
開催４０回という節目を迎えた本年は、鈴木 直道 北海道知事、藤井 裕 実行委員長（ノーステック財団理事長）の開会挨拶をはじめ、浦田北海道経済産業局長、加藤札幌市副市長のご挨拶、及び、主催・同時開催機関・来賓計１３名によるテープカットなど執り行われました。報道関係者や関係機関の皆様が多数出席する中、華やかかつ盛大に幕を開けました。





今回の展示会では、例年の５つの基本ゾーンに加え、未来創造や先端技術に焦点を当てた特別企画を展開し、地域課題の解決や新たな産業創出に向けた取り組みを幅広く紹介しました。また、フィジカルAIをはじめとするロボットや機械の展示を通じて、省力化・自動化や生産性向上につながる技術を身近に体感いただき、具体的な活用について深く考えていただく貴重な機会となりました。



会期中の来場者は２２，２３８名となり、前年を６０６名上回る結果となりました。会場内では、多くの企業経営者、技術者、ビジネスパーソン、そして学生が交わり、活発な交流が生まれました。特に学生の皆様にとっては、最先端の技術や企業に直接触れ、将来の進路や北海道で働く可能性を考える絶好の機会となり、ブース担当者へ真剣に技術的な質問を投げかけ、就職相談を行う姿が見られるなど、次代を担う人材と企業との接点づくりにおいても大きな成果を収めることができました。





ビジネスセミナーにおいても、半導体産業の将来やAI・デジタル技術がもたらす社会・産業の変革など、これからの北海道にとって極めて重要なテーマを設定し、各分野の第一線で活躍される講師の皆様から、貴重な知見と示唆に富むご講演をいただきました。さらに、AIの急激な進化に伴うサイバー攻撃や情報漏洩などのリスクにも焦点を当て、企業が直面する新たな課題と今後の備えについて、未来を見据える有意義な場となりました。

来場者数	２０２６年	２０２５年	昨年との比較
１１月５日（木）	１０，４２８名	１０,５５２名	▲１２４名
１１月６日（金）	１１，８１０名	１１,０８０名	７３０名
計	２２，２３８名	２１,６３２名	６０６名

２０２７年 ビジネスＥＸＰＯの開催について

２０２７年は、会場をアクセスサッポロ（５，０００㎡）から約１５，０００㎡の新会場（札幌産業展示場）へと移し、展示面積を約３倍に拡大して開催いたします。この新たなステージにおいて、ビジネスＥＸＰＯに加え「第１回北海道半導体産業展」を同時開催することで、北海道の産業集積と新たなビジネス創出をさらに加速させてまいります。全体規模としては、出展者約６５０社・機関、来場者数約３万人を目標に掲げ、より多くの企業・技術・人材が集い、交流し、未来を創造する場へと発展させていきます。

なお、２０２７年度の出展申込につきましては、今会期中に会場内で先行受付を開始したところ、既に約１１０件にのぼる申込・相談が寄せられました。多くの新規出展への関心も集まっており、新たな舞台への期待の高さと、北海道の産業の未来を共に創り上げたいという企業の強い熱意を感じる結果となりました。

ご来場の皆様にご記入いただいたアンケート結果につきましては、別途ご報告させていただきます。開催期間中にご来場いただいた皆様、出展者・講師の皆様、そして本展示会の開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

北海道 技術・ビジネス交流会　実行委員会 事務局